

中学校第2学年 道徳 学習指導案

期 日 平成25年10月2日（水）第5校時

場 所 玉名市立玉南中学校2年1組教室

指導者 教諭 白石 恵子

1 主題名 生きる喜び[3－（3）人間としての生き方]

資料名 トップアスリートのメッセージ 浦田理恵選手（H24 体力向上プログラム用DVD）

2 主題について

(1) ねらいとする内容項目について

人間は生きている限り困難にぶつかるものである。困難に直面したとき、逃げたいという弱い心と、困難に立ち向かい強く気高く生きたいという2つの心が葛藤する。そして困難から逃げず乗り越えたとき、人間は深い喜びを感じる。つまり困難に立ち向かおうとする生き方の中に、人間としての生きる喜びを見いだすことが出来ると言えるであろう。また、困難に立ち向かい挑戦する姿は美しく、見ている人に感動を与える。

「自分への自信の欠如」が今日的課題のひとつとして挙げられている現在、困難から逃げず克服することで喜びと自信を得ることは、現代の子どもたちにとって重要な「生きる力」の育成にもつながると考えられる。

生徒たちが「無理だと思ったけど、やってみたらできた、うれしかった」という身近な体験を思い起こすことで、困難に挑戦する生き方のすばらしさを実感し、強く前向きに生きようとする意欲を持たせたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

内容項目3－（3）に関する結果は以下の通りである。（N＝26 単位：人 9月実施）

あなたは「生まれてよかった」と思いますか。 とても思う（20）どちらかといえば思う（4） あまり思わない（0）思わない（2）
あなたはどんな時に「生まれてよかった」と思いますか。（複数回答） ・友達と楽しく過ごしているとき（14）・自分の夢や目標が実現した時（13） ・勉強やスポーツ、習い事などで良い成績を残したとき（12）
あなたは今までに「無理だろう」と思うような困難なことを乗り越えたり、困難から逃げずに挑戦して「よかった」と思った経験がありますか。 ある（6）ない（20）
それはどのようなことですか。 ・サッカーで100本走った時に達成感があつた。 ・部活できついメニューのとき、手を抜かずちゃんとできた。 ・数学が分からなかったとき、友達に教えてもらい、理解したら楽しかった。

学級の雰囲気は明るく素直な生徒が多い。スポーツが好きな生徒が多く、体を動かすことは好きだが学習面では自信がなく、苦手なことから逃げようとする面が見られる。

アンケート結果によると、友達との連帯感を感じたり、自分の目標を達成したりした時に喜びを感じると答えた生徒が多かった。しかし具体的に「困難を乗り越えた経験」のある生徒は少ない。日常生活の中で「無理かなと思ったけどやってみたらできた、うれしい。」という小さな体験を思い起こし、自分に自信を持って、これから先、困難から逃げずに挑戦しようという意欲につなげたい。

(3) 資料について

資料「トップアスリートのメッセージ」は熊本県教育委員会が作成した平成24年体力向上プログラムDVDの中に収録されている。浦田理恵選手は玉名郡南関町出身でロンドンパラリンピック、ゴールボール競技の金メダリストである。20歳で目が不自由になった浦田選手は、小学校教員になりたいという夢と生きる希望を失い1年以上もひきこもってしまった。しかし家族や友人に支えられて立ち上がり、ゴールボールに出会う。自分の弱さと向き合い、仲間とともにトレーニングを積み、念願の金メダルを獲得することができた。

失意のどん底から立ち上がり、困難を乗り越えて目標を達成した浦田選手の笑顔は、人間としての強さと美しさ、そして生きる喜びにあふれている。浦田選手の生き方に誰もが勇気をもらい、自分の生き方を考えることのできる資料である。浦田選手の生き方を通して、自分の可能性を信じ、困難から逃げずに立ち向かう生き方への意欲を持たせたい。

(4) 指導にあたって

- 事前に資料を文章化したものを読ませ、目が見えなくなった浦田さんが絶望から立ち上がったときの気持ちについて考えさせておく。困難から逃げたいという思いと、前向きに生きなければ、という心の葛藤に迫り、困難を乗り越えようとする心情について多様な考えを出し合いたい。
- 展開前半では「浦田選手の笑顔の秘密を探ろう」というテーマ発問をし、金メダルを取るまでの気持ちの変化を心情曲線で表す。心情曲線を書く際、浦田選手が目標を達成するまでには順調なことばかりではなかったのではないかと、自分の経験と重ねながら考えさせたい。そして、壁を乗り越えた喜びが、「笑顔」として表れているという価値理解につなげたい。
- 展開後半では、困難から逃げずに挑戦した自分自身の体験を思い起こすことで価値の自覚化につなげたい。小さなことでも逃げずに挑戦した清々しい体験をお互いに伝え合い、私たちが、日常生活の中で壁にぶつかったり「無理だ」と思う場面にもぶつかっていることにも気づかせたい。そして自分自身が壁を乗り越える生き方への意欲へとつなげたい。
- 終末では、浦田選手の中学時代、担任をしていた本校の先生にゲストティーチャーとして話してもらおう。浦田選手の中学時代の様子や、浦田選手の姿を見てきて感じていることについて話してもらい、生きることの素晴らしさを感じながら終わりたい。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
【視点1】浦田選手の笑顔の秘密を考える場面で、生徒が自分の考えをもち友達と考えを交流することで、自分と異なる考えに接し、自分の考えを深め、道徳的価値の本質に迫るようにする。	【視点2】評価の視点として「道徳的価値の理解」「自分とのかかわり」「自己実現への意志」を設定する。それぞれの視点に沿って具体的な生徒の姿を想定し、生徒の変容を把握できるようにする。	【視点3】総合単元的な道徳計画の中で情報モラルに関する内容を扱い、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考えさせ、ルールやマナーを守って情報社会に参画しようとする態度を養う。

3 総合単元的な道徳指導計画

第2学年

テーマ「自分の命、他人の命、世界でたったひとつだけ」

【テーマ設定の理由】 若者が生命を軽視したことによる痛ましいニュースが後を絶たない。現代社会は、科学技術の進歩や情報化により生活が便利になった半面、自然や人間とのかかわりが希薄になり、生命の尊さについて考える機会を失いつつある。そこで、一人一人の命の大切さや生きることの素晴らしさを感じ、動物や自然、すべての生命を尊重することで世界平和の実現に貢献しようとする意欲を養いたい。	【中心項目】 3－（１）生命の尊厳 【関連項目】 3－（２）自然愛・畏敬の念 3－（３）生きる喜び 4－（１０）世界の平和
---	--

時期	各教科	道徳の時間	総合的な学習の時間・特別活動等	生徒の心の動き
9月	理科 「動物観察レポートを書こう」 (夏休みの課題)	インターネットのルールとマナー 4－（１）遵法、社会秩序の向上 「ネット社会で身を守る」 ネット社会における守るべき正しい道を尊重し、誰もが安心して生活できるよりよいネット社会の実現を目指す態度を育てる。 【心のノート p. 92, 93】	総合的な学習の時間 「働くことの意義」 職場体験学習を通し、働くことの意義や喜び、やりがいなどについて学ぶ。	○ルールやマナーを守ることが自分や周りの人を大切にする事なんだなあ。
10月	保健体育 「傷害の防止」 交通事故や自然災害などによる傷害を防止して、安全で楽しい中学校生活を送ろう。	感動する心 3－（２）自然愛・畏敬の念 「ヤモリと向かいあったとき」 自然の持つ命の美しさや貴さを感じ、自然から受ける力を大切に感じる心情を養う。 【心のノート p. 76, 77】	総合的な学習の時間 「学習発表会に向けて」 職場体験学習で学んだことを発表する。	○動物や自然にも命があるんだなあ。人間も自然の中で生かされているんだなあ。
11月	理科 「動物のなかま」 地球上にはいろいろな動物がいて、さまざまな環境で生活している。	生きる意志 3－（１）生命の尊重 「耐えた歌った十時間」 生命をいとおしみ、自他の生命を尊ぶとともに、ほかの多くの命に支えられながら生きていることに、素直に応えようとする態度を育てる。 【心のノート p. 73, 73】	P T A 講演会 「浦田理恵さん講演会」	○生命は自分の力だけでなく、たくさんの人によって支えられているんだなあ。お互いの命を大切にしよう。
12月 1月	保健体育 「傷害が発生した時の応急手当」 応急手当を適切に行うことにより傷害の悪化を防止しよう。 英語 「Try to Be the Only One」 盲目の歌手、新垣勉さんの生き方を読み取り、考える。	かけがえのない命 3－（１）生命の尊重 「無言館」 戦争で夢を断ち切られた若者の命を考え、生命の尊厳を思う心情を養う。【心のノート p. 84, 85】 世界の平和 4－（１０）人類愛・平和 「ねがい」 世界には戦争・紛争・事故などで苦しんでいる人が大勢いるという現実を見つめさせ、世界の平和のために行動しようとする意欲を引き出す。 【心のノート p. 128, 129】 人類の幸福 4－（１０）国際理解 「女医 宇良田唯子」 外国の文化や習慣を理解し、お互いに尊重し合い、すべての人が幸福になるように努める態度を育成する。	学校行事 「避難訓練」 災害時、速やかに自分やみんなの命を守る行動がとれるように備えよう。 総合的な学習の時間 「修学旅行への取組」 広島現地学習の事前学習として、戦争の悲惨さ、平和の大切さについて学ぼう。	○厳しい状況であっても希望を持ちたくましく生きることがはずばらしいなあ。 ○一人の人間が命をなくすということは本当に悲しい。戦争は絶対にしてはならない。 ○戦争のない平和な世界にするために私たちも何かしたい。 ○すべての人の命を大切に、みんなの幸福のために行動するってすばらしい。自分も何か行動したいなあ。

自他の生命を尊重し、すべての人が命を輝かせることのできる、平和な世界の実現に貢献しようとする生徒

4 本時の学習

(1) ねらい

目が不自由になった悲しみを乗り越え、前向きに生きる浦田さんの姿を通し、困難から逃げずに立ち向かう生き方への意欲を持たせる。

(2) 評価

視 点	評 価 内 容	評価方法
道徳的価値の理解	○浦田さんの笑顔の秘密を考えることで、困難から逃げずに前向きに生きるよさについて考えている。	ワークシート・話合いの様子・発言
自分とのかかわり	○困難なことに対して今までの自分はどうか振り返っている。	発言
自己実現への意志	○困難から逃げずに立ち向かう前向きな生き方について意欲を持っている。	ワークシート

(3) 展開

過程	学習活動	○主な発問 ・ 予想される意識	指導上の留意点及び評価【三つの視点から】	備考
気分 3分	1 浦田さんについて知る。	・南関町出身でロンドンパラリンピック金メダリスト。		写真
とらえる 32分	2 DVD「トップアスリートからのメッセージ」を視聴して浦田さんの心情を考える。	○どんな感想を持ちましたか。 ・すごかった。・笑顔だった。		DVD
	・前向きに変わった時の気持ちを考える。	○浦田さんの笑顔の秘密を探ってみよう。		
	・浦田さんが金メダルを取るまでの心情の変化を考える。	○目が見えなくなった浦田さんが絶望から立ち上がったのはどんな思いがあったのだろう。	・困難から逃げたいという思いと前向きに生きたいという思いの狭間で葛藤する浦田さんの心情に迫りたい。	事前に書かせたワークシート
	・自分の考えを発表する。	・このままではいけない。前に進めないから。 ・自分で何かしなければいけない。結局は自分しだいだから。 ・親や友だちを安心させたい。みんな心配しているから。	・補助発問「みんなにも、だめだと思ったけど、よし、やろう、と思ったことがありますか。」	
	・浦田さんの笑顔の秘密を考える。	○目が見えなくなったときから金メダルを取った時までの浦田さんの気持ちの変化を心情曲線で表してみよう。	・心情曲線で浦田さんの気持ちを表現することで、金メダルを取るまでの心の葛藤を想像させたい。	ワークシート
	【言語活動】 自分の考えを持ち、グループ、全体で伝え合うことで、多様な考えに触れ、価値を深める。	・点字や白い杖を使って歩く練習をしたとき自信が出てきた。 ・金メダルを目指して練習しているとき「やるぞ」という気持ちもあるけど、「やっぱり無理だ」と思った時もあった。	・補助発問「みんなも目標に向かって頑張っているけど、途中で無理かなとか、やめたいと思うことはないですか。」 ・浦田さんが困難に立ち向かい、乗り越えた喜びが笑顔となったことに気づかせることで、価値を高めたい。	ワークシート
		○浦田さんの笑顔の秘密は何だろう。	【視点1】自分の考えを持ち、グループで伝え合うことで、多様な考えに触れ、価値を深める。 【視点2】 評価：道徳的価値の理解	
あたためる 10分	3 自分のこととして考える。	○みんなの「困難なことに挑戦して良かった」という体験を出し合ってみましょう。	・日常生活の中で、困難を乗り越えてうれしかった体験を思い起こさせる。 【視点2】 評価：自分とのかかわり	
終末 5分	4 GTの話を聞く。	○中学時代に浦田さんを担任していた先生に、中学時代の浦田さんの様子などを聞きましょう。	・中学時代の浦田さんの様子や今の姿について話してもらい、今後の意欲へつなげたい。 【視点2】評価：自己実現への意志	GT